

いちばん、人を考える会社になる。

# 社会からの信頼確保

2010年度に策定した「2011-2012年度環境中期取組計画」の達成にむけて、全社を挙げて省エネ・省資源等の環境問題に取り組むとともに、環境経営推進体制を強化します。また、良き企業市民として社会貢献活動にも積極的に取り組み、健全な事業活動を通じて、社会・経済の発展と地球環境との調和に貢献していきます。



第一生命ホールおよび当社が支援するNPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク(TAN)は、今年10周年を迎えます。(写真:左上より反時計回りに、第一生命ホール、ホール無料開放デー「オープンハウス」(©大窪道治)、旧第一生命ホールがあった旧第一生命館、TAN支援による2009年「メセナ大賞」の表彰式、第一生命ホール外観、第一生命ホールでの弦楽四重奏の演奏風景)

## 社会貢献活動

### 社会貢献活動の取組方針

当社は、「社会貢献活動の取組方針」を制定し、「健康・福祉」「生活環境」「教育・調査」「地域社会貢献」「芸術・文化」「スポーツ」の6つの分野で、社会の一員として、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

### 健康・福祉

#### 保健文化賞

本賞は、わが国の保健衛生の向上に取り組む人々に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設されました。厚生労働省ほかの後援のもと実施しており、2011年で63回目を迎える当社において最も長い歴史を持つ社会貢献活動です。毎年秋に贈呈式を

行い(①)、受賞者は天皇・皇后両陛下に拝謁を賜っています。現在では、海外での医療活動、生活習慣病対策等、時代の変化に伴い幅広い課題に対する取り組みを顕彰しています。

#### 財団法人心臓血管研究所

循環器疾患の医学的研究を行い、予防・診断・治療に資することを目的

に、研究成果発表による治療成績向上に寄与しているほか、併設の付属病院では高度で先進的な専門医療を提供しています。また、2011年2月には港区西麻布へ新築移転し、最新医療設備導入等でさらなる医療の質とサービスの向上を目指しています。今後も循環器疾患の臨床医学発展に積極的に貢献していきます。

### 生活環境

#### 緑の環境デザイン賞

本賞は、全国の市民団体・公共団体等から公募した都市部の緑化プランに対して資金を助成する顕彰制度として1990年に創設されました。

2009年度より都市の環境共生に必要な緑地機能を評価基準に加え、地域におけるヒートアイランド化の緩和や生物多様性保全に効果のある緑化プランを積極的に支援しています(②)。

### 教育・調査

#### 「ライフサイクルゲーム」による金融教育支援

財団法人消費者教育支援センターの「第4回消費者教育教材資料表彰」の「実験実習部門」で優秀賞を受賞した「ライフサイクルゲーム」を活用し、日本消費者教育学会等と連携した金融教育支援を行っています。このゲームは、生命保険をはじめとする金融商品や契約に関する知識が学べるよう

に工夫されたゲーム教材として各方面からご好評をいただいています(③)。

#### 教職員・高校生インターンシップ

財団法人経済広報センター主催の「教員の民間企業研修」への参画や、職業観・勤労観の早期育成等を目的とした高校生インターンシップの受け入れを行っています。これらの取り組みを通じ、明日の日本を担う子どもたちの育成・教育の支援を行っています。

#### ① 第62回 保健文化賞贈呈式



#### ② 「国土交通大臣賞」受賞 「駒岡小学校(札幌市)」



#### ③ 日本消費者教育学会による 学生セミナー





## 地域社会貢献

### 全国職員によるボランティア活動

地域社会の一員として、全国各地の職員がグループで清掃活動、チャリティバザー、募金活動等、自発的な地域社会貢献活動に取り組んでいます(①)。活動を支援・推進するため、これまでの「マッチングギフト制度」\*に加えて、2010年度より、活動参加人数に応じて会社が一定額を拠出

し、環境保護団体へ寄付をする「アクションギフト制度」を導入し、全社で4,840名の参加となりました。

また東日本大震災の被災地支援ボランティアに積極的に参加しています(②)。

### 骨髄バンクドナー登録の推進

生命保険業を営む当社は、相互扶助の精神「一人は万人のため、万人は

一人のため」のもと、骨髄移植希望者に少しでもその機会が増えるよう、2010年度より骨髄バンクドナー登録を推進しており、初年度で200名以上の職員が登録しました。骨髄等を提供する際に要する相当期間を特別有給休暇とする「ドナー休暇制度」も設け、取り組みを後押ししています。

\* 募金額やバザーの売上額等を各団体へ寄付する際、会社が一定額を上乗せする制度

## 芸術・文化

### VOCA展・第一生命ギャラリー

平面美術の領域における若手作家の育成・支援を目的に開催されている「VOCA展」に第1回(1994年)より協賛しています(③)。近年では若手作家の登竜門として高く評価されています。当社は協賛に加え、優秀作品を所蔵し、日比谷本社ロビーや第一生命ギャラリーで定期的に作品を公開しています。さらに、同ギャラリーにて受賞作家の個展を開催し、受賞

後の制作活動を発表する場を提供することで継続した支援を行っています。こうした活動が評価され、2000年に「メセナ大賞」\*を受賞しました。

### NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク(TAN)

1989年、第一生命館の保存・改築に伴い37年間にわたる活動を休止した第一生命ホールは、2001年、東京・晴海に再興され、TANが自主企画公演を実施しています。TANは、

ホールでの公演のほか日ごるホールに来場できない学校や福祉施設の方々に対して良質な音楽を届ける「アウトリーチ活動」を実施しています。当社はTANへの支援を通じて「地域に密着した芸術活動」の実現を目指しています。

こうした活動が評価され、当社は2009年に2度目となる「メセナ大賞」\*を受賞しました。

\* 公益社団法人企業メセナ協議会が主催する「メセナワード」において、芸術文化振興に最も高く貢献したメセナ活動を顕彰する賞

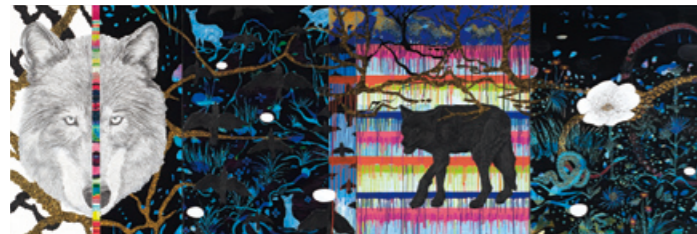
### ① 植林活動(中京総合支社)



### ② 被災地支援ボランティア(岩手)



### ③ VOCA展2011 VOCA賞「或る感星」(作 中山 玲佳)



### サラリーマン川柳コンクール

“サラ川(サラセン)”の愛称で親しまれている「サラリーマン川柳コンクール」を1987年から毎年実施しています。

職場やご家庭などの日常生活の中で日ごる感じている“喜怒哀楽”を、5・7・5の川柳にご応募いただき、応募作品から当社で全国優秀100作品を選出。その後お客さまの投票によりベスト10を決定します。

入選作は例年マスコミでも取り上げられ、世相を映すユーモラスな「鏡」として話題を振りまいています。



## スポーツ

### 女子陸上競技部

1990年に女子陸上競技部を創設以来、選手の育成に注力してきました。これまでに、2009年の世界陸上女子マラソンでの尾崎好美選手の銀メダル獲得、2010年の東日本実

業団女子駅伝優勝など、多くの大会で好成績を収めています。

また、2011年8月に行われる世界陸上女子マラソンの代表に、尾崎好美、野尻あずさの2選手が選出されるなど、日本陸上中・長距離界を牽引しています(④)。

④ 左：尾崎 好美 右：野尻 あずさ



## 国際的な社会貢献活動

### 財団法人国際保険振興会(FALIA)

生命保険事業の発展に寄与することを目的に、国内外で保険事業関係

者を招いた研修等を開催し、2011年3月末時点で国内研修の参加者は累計3,260名、海外セミナーは152回開催し、参加者は5,000名以上となっ

ています。また、2010年11月にはウズベキスタン共和国の保険市場の健全な発展に貢献したとして、「ゴールデンアンブレラ賞」を授与されました。

## 人権の尊重

### 人権啓発の取り組み

人権問題に対して正しい理解と認識を持ち、あらゆる場において常に相手を思いやる心を持って行動できる職員の育成に努めています。

1986年に「第一生命の人権宣言(人権宣言3本の柱)」を制定しました。また、役職員の「行動規範」に人権にかかわる内容を記載し、職員の人権意識の向上に努めています。

### 人権啓発推進体制

本社に役員・部長・課長で構成する人権啓発推進本部を置くとともに、すべての部・支社に人権啓発委員を配置し、人権啓発を推進しています。

### 人権啓発研修

人権問題を正しく理解し認識を深めて、日常の活動につなげていくため

には、地道な研修の繰り返しが重要であるとの認識のもと、人権啓発に取り組んでいます。

2010年度は、所属別研修(全職員対象)をはじめ、諸人権研修において、「同和問題」「障がい者理解」「ハラスメント防止」を中心に研修を実施しました。また、管理職人権啓発研修では、西光寺副住職 清原隆宣氏に「同和問題～人の世に光と熱を」をテーマに講演していただきました(⑤)。

### 社外活動

当社は「東京人権啓発企業連絡会」に加盟するとともに、行政・諸団体が開催する研修会等に積極的に参加し、社内の人権啓発の取り組みに役立てています。

### セクハラ・パワハラ防止

全職員対象の「所属別人権研修」および諸人権研修においてセクハラ・パワハラ防止研修を実施し、未然防止に努めています。また、全役職員携帯ファイル「ビジョン&ルール」や各種マニュアルに、セクハラ・パワハラの防止取組および相談受付窓口を掲載し、周知を図っています。

⑤ 管理職人権啓発研修 西光寺副住職 清原 隆宣氏





# 環境保護活動

## 環境経営の推進

### 「2011-2012年度環境中期取組計画」の策定

当社は、中長期的に「持続可能な社会づくり」に貢献するグローバルな保険グループを目指すため、「2011-2012年度環境中期取組計画」を策

定しました。

本計画は、当社の事業活動を通じて、「1. 地球温暖化防止に向けた対応」、「2. 循環型社会構築に向けた対応」において今後取り組むべき具体的な数値目標を掲げるとともに、「3. 環境保護に向けた企業取り組み」、

「4. 環境経営推進体制の確立」において定性的目標を設定しています(①)。

現在、本計画達成に向けて『Ecoダイエツト運動』を展開し、全社を挙げて環境問題に取り組んでいます。(②)。

### ① 環境中期取組計画 2012年度目標

1. 地球温暖化防止に向けた対応 (省エネ)		3. 環境保護に向けた企業取り組み	
事務所エネルギー削減	・CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> ) 2007年度比 10%削減	本業を通じた環境配慮行動	・資産運用における環境配慮行動の推進
物流エネルギー削減	・物流エネルギー(t・km) 2009年度比 10%削減	生物多様性保全への対応	・環境保全活動への助成・支援の推進
2. 循環型社会構築に向けた対応 (省資源)		4. 環境経営推進体制の確立	
紙使用量削減	・紙総使用量(t) 2009年度比 20%削減 ・OA用紙使用量(t) 2009年度比 15%削減 ・メールボックス帳票種類数 2009年度比 20%削減	環境経営推進体制の確立	・環境取組PDCAサイクルの定着 ・役職員の環境取組意識の向上 ・環境関連情報開示の推進
紙リサイクル再生紙利用の促進	・ロールボックス回収資源 リサイクル率 100%維持 ・主要事業所一般ごみ リサイクル率 100%維持		
グリーン購入の推進	・グリーン購入率 80%		

### ② 環境パフォーマンスデータ

		2009年度	2010年度	増減	増減理由
省エネルギー	CO <sub>2</sub> 排出量 <sup>※1</sup> (t-CO <sub>2</sub> )	179,000	168,000	▲6.1%	CO <sub>2</sub> 排出量・電力使用量とも、全社設備更新・運用改善・全社運動による省エネ取組の効果が現れましたが、電力使用量については7~9月の猛暑による空調エネルギー量増加に伴い、年間では若干前年実績を上回りました。
	電力使用量 <sup>※1</sup> (千kWh)	328,900	329,314	0.1%	
省資源	紙総使用量 (t)	12,775	9,954	▲22.1%	約款のCD-ROM化やコンピュータリストの削減、全社運動によるOA用紙削減等により減少しました。
	紙のリサイクル総処理量 <sup>※2</sup> (t)	4,420	3,446	▲22.0%	紙使用量減少に伴いリサイクル量は減少しましたが、集中廃棄する紙は100%リサイクルしています。

※1 エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)第7条第3項の規定に基づき算出しています。当社投資用物件・営業用物件・厚生用物件の総エネルギー量を記載しています。  
※2 リサイクル処理量には当年度以前に回収された廃棄書類等も含まれます。

## 職員啓発活動の推進

### エコキャップ運動<sup>※</sup>の展開

当社は、大量消費・大量廃棄の社会から持続可能な循環型社会への転換へ寄与するべく、2005年度から日比谷本社や大井事業所、一部の支社など、事業所単位で「エコキャップ運

動」の取り組みを始めています。

そして2010年度には全国の拠点にて展開を開始し、当社職員だけでなく、運動の趣旨をご理解いただいた地域の皆さまにもご協力いただきながら活動しています。

2011年3月末時点で回収開始か

ら累計約2,060万個のキャップを全国で回収し、約26,000名分のワクチンがNPO法人エコキャップ推進協会を通じて寄付されました。

※ ベットボトルキャップを回収して再資源化をすることによって地球温暖化防止に貢献し、さらにその収益を発展途上国の子どもたちにワクチンとして寄付する活動。

## 資産運用を通じた環境への取り組み

### 環境に配慮した不動産投資

当社は、省エネ設備の導入や建物の緑化により、環境に配慮したビル建築を積極的に進めています。既存の建物に対しては、大規模物件を中心に空調設備の運用改善や設備改修などの省エネ取組を推進しています。また、遊休物件を再利用する「リノベーション」にも取り組んでいます。

### ■新築建物における環境配慮

当社は、空調・照明等の省エネ設備の導入により、新築ビルの環境性能の向上を図るとともに、建物の緑化にも努めています。また、主要なビ

ルの建築に際しては、建物の環境性能を評価する指標CASBEE<sup>※</sup>の優良評価にあたるAランク、そして最高評価にあたるSランクの取得に向けて取り組んでいます。

### ■豊洲キュービックガーデンの竣工

2011年1月に竣工した豊洲キュービックガーデン(③)においては、さまざまな環境配慮対応を行っています(④)。これらにより、東京都の定めた標準的なモデルオフィスビルと比較して、エネルギー消費量約35%削減、CO<sub>2</sub>排出量30%削減を実現する建物となっており、同ビルはCASBEEの最高ランクであるSラン

クの認定を受けています(⑤)。

### グループ会社でのSRIファンドへの取り組み

グループ会社であるDIAMアセットマネジメントでは、環境などの社会的課題に配慮したSRIファンドを設定・運用しています(⑥)。

※ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)。2001年に国土交通省の主導の下、(財)建築環境・省エネルギー機構内に設置された委員会によって開発された、建築物の環境性能を評価し、格付けする手法。省エネや省資源、リサイクル性能といった環境負荷低減の側面はもとより、室内の快適性や景観への配慮といった環境品質・性能の向上といった側面も含めた、建築物の環境性能を総合的に評価するシステム。

### ③ 豊洲キュービックガーデン



### ④ 豊洲キュービックガーデンの環境配慮対応事例

- 屋上に太陽光発電設備を設置し、ビル内で使用する電力として活用。
- 屋上緑化、外壁ガラスの二重化および太陽光に合わせて自動制御する電動ブラインド等を導入することで熱負荷を低減し、空調エネルギーを抑制。
- 人を感知して、オフィスの照明や空調を自動的に調整する機能を装備。

### ⑤ CASBEE認証取得状況

ビル名	所在地	備考
豊洲キュービックガーデン	東京都江東区	Sランク取得済
新大井事業所(仮称)	神奈川県足柄郡	Sランク取得に向け取組中

### ⑥ DIAMアセットマネジメントが設定・運用するSRIファンド<sup>※</sup> (2011年3月末時点)

ファンド名称	設定時期	※これらのファンドには元本割れのリスクや手数料など商品に関わる注意点が異なります。各ファンドの概要、リスク、手数料などは、DIAMアセットマネジメントのウェブサイトでご確認いただけます。なお、上記は当社グループの社会的責任投資(SRI)を紹介するものであり、ファンド(投資信託)の勧誘を目的とするものではありません。当該ファンドは、当社でお取り扱いしていません。
DIAM高格付インカム・オープンSRI(愛称:ハッピークローバーSRI)	2005年	
自然環境保護ファンド(愛称:尾瀬紀行)	2006年	
DIAM世界環境ビジネスファンド(愛称:シロクマ)	2007年	
DIAMジャバングリーンファンド(愛称:新三種の神器)	2009年	